

# まるこやま

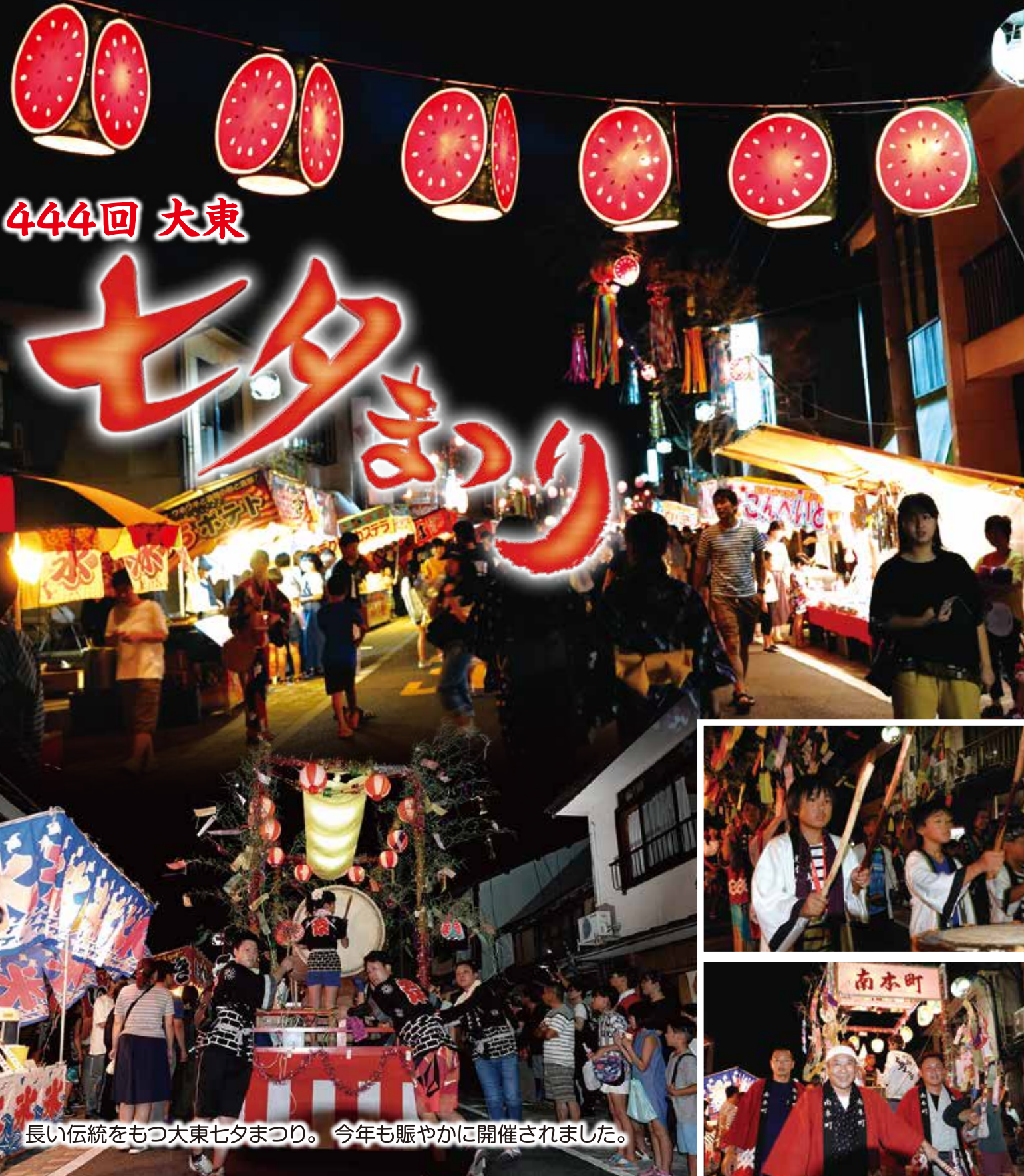
第51号

平成30年9月20日

〒699-1251  
雲南市大東町大東2419-1  
大東交流センター  
TEL(0854)43-2130  
E-mail:daito-c@hotaru.yoitoko.jp

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

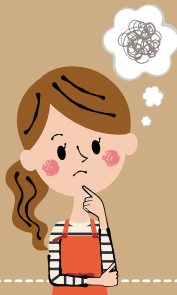


444回 大東

# 七夕まつり

長い伝統をもつ大東七夕まつり。今年も賑やかに開催されました。





# 大東総合センター 跡地周辺の整備について 要望書提出



かつての賑わいや活力を生み出し、行政機能を発揮してきた旧大東町役場(現大東総合センター)が、いよいよ来年7月には取り壊しになります。旧大東中学校跡地に造成された悠々広場とともに、今後のまちづくりにとって重要なゾーンであり、これまで各方面の皆様はその跡地整備について検討いただきました。

このたび、その意見を集約し、7月27日に大東町自主組織連絡協議会、大東地区自治振興協議会等4団体の連名による要望書を雲南市に提出いたしました。

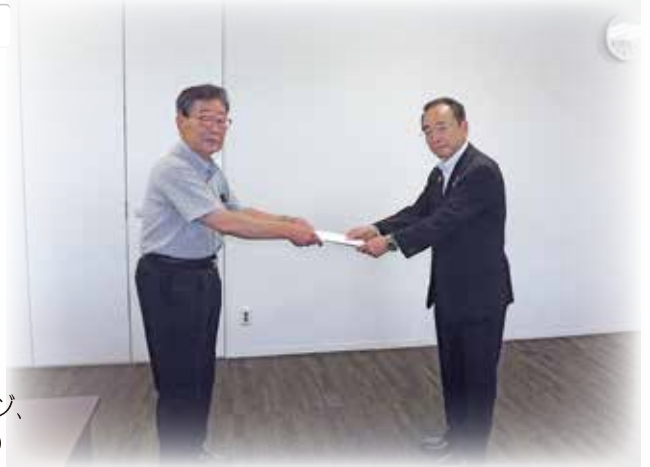
## ◀ 要望骨子

### ◆ 大東総合センター跡地の整備

- ・災害時の一時避難場所や市場の開催場所としても活用できる屋根付き野外施設設置
- ・総合センター隣の第3分庁舎は住民活動拠点となるよう存続再整備

### ◆ 悠々広場の整備(多目的広場)

- ・災害時の避難広場としても活用できる環境整備(トイレ、流し台、広場排水、安全確保等)
- ・憩い&交流広場として整備(屋根付き野外ステージ、駐車場、外灯、ジョギング・ウォーキングコース)



これに対し、速水雲南市長より「前向きに検討します」との回答をいただきました。

(地区活動推進員西村)



# 防火・防災に対する 決意を新たに

消防大東方面隊自動車分団分団長 錦織 由幸

平素より、大東方面隊自動車分団の活動に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年は私達自動車分団が7月29日に地元雲南市で行われる島根県消防操法大会に出場する年でありましたが、台風接近に伴い本大会の開催が中止となり出場することが出来ませんでした。

この大会に向けては昨年12月より練習を開始し、4月下旬まで文化センターの駐車場や消防署で指導をいただきました。5月に入ると斐伊川河川敷の操法訓練場にて、週3~4回の訓練を行いました。7月15日に出場した雲南地区消防操法大会では、練習を重ねた成果を出し切り準優勝という結果を得ることができました。



本番の県大会開催中止については大変残念ではありましたが、大会に向けた練習で経験させていただいたことや、団員同士の絆が深まったことは、今後の消防団活動や団員それぞれの人生にとって大変有意義な時間になったと思います。練習で培った技術をふるさとの安全・安心確保のために活かし、消防・防災活動に努めてまいります。

最後になりますが、地域の消防後援会、地域の皆様の多大なご支援、ご厚志に感謝申し上げ、自動車分団の取り組み報告とさせていただきます。





## 百年の伝統を受け継ぎ 新たな一歩を踏みだします

大東高校前期生徒会長 岩間 はな



本校は今年で創立百周年を迎えました。そのような節目の年に生徒会長を任せられ、初めは不安しかありませんでしたが、先生方、生徒会執行部、全校生徒、そして地域の方々の支えのおかげで、第71回織部祭、またタイムカプセル埋設式を成功させることができました。

前期生徒会の活動内容は織部祭のことが中心で、生徒一人一人が花のように咲き乱れ、青春を謳歌してほしいという願いと、大東高校百回目の夏というのを意味する「百夏繚乱～青春の花を摘まんな～」というテーマを立てました。サブテーマは校歌から引用し、卒業生の方々も懐かしさを感じられると思います。このテーマのもと、生徒会執行部は動いていましたが、思っていたよりも何十倍も大変で、生徒会長であること、創立百周年というプレッシャーに何度も押しつぶされそうになりました。



しかし友達が「十分頑張るとるよ」などたくさん声をかけてくれて無事最後までやり遂げることができました。また、今年の織部祭はたくさんの地域の方に来て頂きました。特に体育祭は、雨のため月曜日に延期になったにもかかわらず多くの方に来て頂き、たくさん声援をもらい、こんなにも地域の方々に愛されているんだと改めて感じました。

この百年間で築き上げてこられた伝統を引き継ぎ、また新たな歴史を刻むために全校生徒一丸となって歩んでいきます。これからも、大東高校のことを温かく見守っていただけたら幸いです。

UNNAN FIELD STATION

## 島根大学 雲南フィールド ステーション



今年の4月から島根大学のサテライト「島根大学雲南フィールドステーション」を設置しました。元々は、木次町にある旧庁舎に設置されていましたが、さらなる活用のため大東町飯田地内に移転しました。

近年、地域に出て活動する学生や教員も多くなっており、地域活動の拠点として活用することを目的としています。サテライトの活用や改装、地域活動については、学生の自主性を重視しながら行っており、そこからサテライトの活用方法や地域との関わり方を模索しています。現在は、建築を勉強する学生が主体となって、



空き家だった物件の改装を行っています。他にも、サテライトを拠点として地域で様々なプロジェクトを企画しています。

地域の皆さんに、気軽に来て頂ける場にしたと考えていますので、皆様のご意見なども是非お聞かせください。また、サテライトでは相談業務も行っております。大学の先生と話してみたいという方がおられましたら、お気軽にご連絡ください。話題は、地域活動や日々の生活に関する事など、何でも構いません。ご連絡をお待ちしております。

(お問い合わせ先：生物資源科学部 高田 TEL/FAX: 0852-32-6544)





# まなびの泉



大東生涯学習運営委員会

## かみくの桃源郷サマーキャンプ振り返り

一番楽しかったのは、お風呂に入ることとテントでねることだった。テントの中ではこわい話をしたけどぐっすりねれた。カレーを食べておなかいっぱいになった。川あそびでみんなと川に飛びこんで楽しかったし、あゆのつかみどりていっぴきとれてよかった。キャンプファイヤーではトーチに火をつけながらみんなで歌ったけど、ものすごく熱くて火に近づけなかった。自由時間ではセミのぬけがらを見つけた。(4年 曾田結衣花)

1 班の班長として役目ができるかなと不安だったけど、最終的にみんなをまとめることができて

よかった。川遊びをして飛び込みが

「冷たいかな」と思っ

たけど、みんなで手をつないで飛んだりもぐったりして楽しかったし、仲が深まった。キャンプファイヤーでは班長が前に出て他の人に火を移す時にせりふを言う練習でせりふをまちがえたりしてドキドキしたけど、本番ではじょうずにできてよかった。高校生になった時もこのキャンプがあれば参加したい。スタッフの皆さんありがとうございました。(6年 永井千遥)

## 「親子で一緒に川遊び!楽しかったよ～」

～メディアにかかわるより、楽しいこと見つけたよ!～

大東こども園 園長 古瀬 芳美



今年の夏は38度を超える猛暑!

そんな最中、「親子で一緒に川遊びをしよう～」と活動を計画し、朝ごはんをしっかりと食べ、梅干もほおばり、水分補強もし阿用川へ出かけました。

その理由として、近年、テレビやスマートフォンやパソコンなどによる映像の視聴時間が増えているため、戸外で体や心を動かして遊ぶことや親子の触れ合う時間が減少し、子どもたちの体力やコミュニケーション能力の低下が懸念されているからです。そこでPTAの役員のみなさんと企画した活動が、「親子で一緒に自然の中で遊ぶ」ことでした。身近な自然を活かし、親子で心ゆくまで触れ合いを楽しもうと選んだ場所が「阿用川」でした。

親子で川に入ってみると、「水が冷たくて気持ちいいね～」 「いい風だね～」 「あ!はえんごがおった～」 「エビもある」 「ボッカかな～」 「ヨシノボリもある」 「かえるだらけだ～」と子どものみならず、大人までもがいつの間にか夢中になって楽しんでいました。

そして、いっぱい遊んだ後、みんなで作ったカレーを食べながら「一緒に川遊びして楽しかったね～」 「子どもより大人の方が夢中になって遊びました～」 「また、遊びたいね～」といった声が

聞かれ嬉しく思いました。

そしてそれ以来、親子で阿用川や赤川河川敷で遊びを楽しんでいる姿を見かけるようになりました。また、丸子山や大日さんなど、大東町の自然の場で親子の触れ合いを楽しんだ話もよく聞かれるようになりました。

このように、子どものために「メディアにかかわらなくても」「メディアに頼らなくても」楽しいことを発見していく保護者さんの姿勢に感動しました。

今後も、大東町の自然を宝とし、その豊かさを活かしながら、子どもの心も体もたくましく育てていきたいと思えます。





結成40周年



## 『頑張れ大東野球スポーツ少年団 ～基本はチームワーク』

大東野球スポーツ少年団 第40期保護者会長 錦織 純一

大東野球スポーツ少年団は「基本はチームワーク」を合言葉に石飛監督、内田コーチ、錦織コーチの指導のもと、日々の練習に励んでいます。

スポーツ少年団といえば保護者の支えあつてのスポーツです。練習は当番制で子どもたちのサポート、試合となれば子どもたちの送迎、声を張り上げての応援と子どもたちに対して保護者も全力投球しています。初めは大変なことばかりだと思っておられた保護者の方も、子どもたち一人ひとりの頑張っている姿を見て「チームの子どもたちのために」と、今ではやりがいを感じながら楽しく応援していただいています。

そんな中、今年度初めての公式戦“全日本学童野球選手権”の雲南地区予選で勝ち上がり、ブロック大会に進出しましたが、出雲地区の強豪と対戦し敗退しました。また、公式戦“中国ろうき

ん杯”でも雲南地区予選で勝ち上がり、ブロック大会に進出しましたが、またもや出雲地区の代表に敗退してしまいました。

しかし、夏のJAカップ“ぼくらの甲子園”では見事、雲南地区で優勝し、県大会では1回戦を勝ち、2回戦では今まで敗退していた出雲地区代表に2対0で雪辱を果たし決勝戦に進出しました。決勝では大田のチームに敗退しましたが、島根県2位と輝かしい成績を収めることができました。この大会を通じて指導者、保護者、子どもたちの絆が一層深まったと思います。

今年、大東野球スポーツ少年団が結成40周年の節目を迎えました。これもひとえに大東野球スポーツ少年団に携わられた指導者の皆様、保護者の皆様、地域の皆様のお陰だと感謝しております。これからも応援よろしくお願いたします。



## 加多神社 神輿新調 奉告祭

加多神社総代会会長 高橋 健

「まるこやま」第46号でも紹介しましたが、大東町古城の加多神社では秋の例大祭の伝統行事として、氏神様が御旅所にお出かけになる「御幸の神事」が毎年執り行われます。この神事は、歴代に渡って引き継がれている8軒の「神輿舁」が神輿を担ぎ、同じく代々引き継がれた猿田彦、獅子、太鼓が先導するという形で、特定の氏子奉仕者によって行列の中心部分が担われてきました。しかしながら、近年はこれらの氏子家庭の高齢化が進行し、今後の行列の運行継続が心配される状況となり、神社総代会に対し神輿の軽量化などの対策要望が出されていました。そこで関係者が集まり協議を重ねた結果、厳しい経済環境ながら

もすべての氏子の皆様にご寄付をお願いし、その浄財で西阿用の森山木工様をお願いして小型化・軽量化した神輿を新調することになりました。現在の神輿がいつ頃作成されたのかは分かりませんが神輿の新調は百年に一度ほどのことと思われます。この度、新調した神輿を神前にお披露目する「神輿新調奉告祭」が9月16日に行われ、真新しい飾幕で飾られた小型ながらも格調を備えた素晴らしい御神輿が披露されました。



雲南市ペタンク大会で奇跡の二連覇達成

西本町松寿会 会長 熱田 修二

雲南市老人クラブ連合会主催の「第8回健康作り親善雲南市ペタンク大会」が、昨年7月6日に掛合町波多交流センター前のグラウンドで行なわれ、5町支部から約70名が参加する中で、熱戦を繰り広げました。成績は大東Dチーム《西本町松寿会》が決勝リーグで2勝して初優勝を達成しました。授与された大きな大きなトロフィーは大東交流センターで保管してもらいました。

そして今年もその大会に向けた支部選抜大会が開催され、西本町松寿会もペタンク愛好者が減少するものの、参加したチーム全員の調子が最高に良く大東支部代表としての出場権を得ました。

迎えた「第9回健康作り親善雲南市ペタンク大会」は木次町斐伊グラウンドで行われ、当日は大変な猛暑でしたが、私たち西本町松寿会のメンバーは熱中症にもならず、予選を全勝で勝ち進み決勝に臨みました。決勝では全員の調子が良く落ちて集中でき焦らず笑顔でプレー出来ました。結果は昨年度に引き続き二連覇を達成しました。慰労会のビールの味は最高でした。健康でペタンクが出来る事への感謝とともに、この高揚感に満たされた体に染みるビールが飲めるように精進を怠らないようにと密かに心に誓った次第です。



にがおえで  
こんにちは!

今日も楽しく

須賀 黒川 博



(絵:大東町東町北 細田 滋)

人生は楽しく過したいものですね。  
私は昭和12年に神楽の仲間入りをし、昭和14年に書道をはじめました。そして職務の合間の好きな道を約70年間歩んで来ました。共に励んだ仲間がなつかしく、古びた用具の数々もまたなつかしい。  
人生誰でも、趣味、娯楽に限らず大切にしたい思い出が沢山あると思いますが・・・私は手すさびの神楽用品や書道用具、書作品等の手入れや鑑賞が日課のひとつになってきました。

誰か?の言に“若い時の思い出は、年取ってからの心地よいクッションになる”と云う。序でながら私の修養の心は「誠」座右の一本は「感銘録」30年来、親しんでいる月刊誌は人間学の「致知」・・・

・・・今、数え年97歳、ひ孫4人・・・

あいあい募金

ご寄付に感謝致します

事務局 TEL.43-2130

一般寄付

- ・大東町(本町) 大東小学校卒業同期学生会代表 太田 拓志様
- ・大東町(新庄南) 中井千登世様

香典返し

- ・大東町(金成下) 恩田 武志様
- ・大東町(光) 土谷 一彦様
- ・大東町(東町下) 原田 勝博様
- ・大東町(田中下) 黒目 真様

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

平成30年 8月末現在の 人口・世帯数 【( )内は対前々月比】	項目	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
	雲南市	38,707人 (▲112人)	18,615人 (▲68人)	20,092人 (▲44人)	13,794世帯 (▲27世帯)	37.96% (+0.08%)
	大東町	12,346人 (▲31人)	6,001人 (▲13人)	6,345人 (▲18人)	4,175世帯 (+1世帯)	37.77% (+0.02%)
	大東地区	3,593人 (▲8人)	1,720人 (▲4人)	1,873人 (▲4人)	1,254世帯 (+3世帯)	—

資料：雲南市HPより





# 震災は忘れてないのにやってきた！ 大阪北部地震

いつもの朝を迎え家を出る。6月18日7時58分、揺れを感じて一瞬「ガシャ〜ン」。缶の中に瓶と食器を詰めて高い所からコンクリート床に落とした時の音の何百倍の音と云えば何となく理解してもらえるだろうか。鉄骨造り建物の1階での音。

すぐ家に電話（携帯⇒携帯、携帯⇒固定、公衆⇒固定）しても繋がらず。現場まで用具を運び、家の確認に戻ったが家内、家財に何もなくて一安心し現場に戻る。現場の上空には数機のヘリコプター。各会員も家に電話で確認するが場所により被害状況が異なっている。携帯で見ると交通機関も止まり、かなり混乱している様子。また高槻の小学生が死亡と携帯の画面に表示される。

阪神淡路大震災で勉強しているが、勉強だけではダメで、実践しなければ何もならない下記事例。

①通学途中ブロック塀の下敷きで小学生が亡くなり、行政の言い訳ともとれる説明。何かがないと動かない役所の体質。ブロック塀の事故は過去にも何度も勉強しているはずだが？今回の場所は以前に専門家からも指摘されており人災である。（写真は震災前と震災後のブロック塀…TVより）



倒れる前

②会員で被害に合われた方の話から、マンションの5階以上位からの被害が大きい。上階になるほど揺れが大きいことはわかり切っていることだが対策されていない所が多かったようだ。重いものは下側に置き高い物は倒れ防止を。また揺れに対してはキャストは動きを吸収し効果的。



倒れた後

③訓練のための訓練であればやらない方がよい事例。箕面市では阪神淡路大震災を教訓に毎年1月17日は防災訓練を実施し、自治会ごとに安否確認を行い報告することになっているが今回は全く機能せず。自力での避難が難しい高齢者や障害者などの安否確認。国は事前に支援が必要な人たちの名簿を作って迅速な安否確認を進めることにしているようだが、今回の地震で震度6弱の揺れを観測した大阪の5つの市への某局の取材では、自治体間で安否確認の進捗に差が出ている。箕面市でも進捗状況や詳しい内容については把握していなかった。大声で声掛けし互いに確認すれば良い。

社会人になった時、会社のスローガンにあった「実行で実効を！」を思い出した。きれいごとでは何にもならない。

阪神淡路の時には震源地は震度7で箕面市は震度4、今回箕面市は震源地高槻と同じ震度6弱。専門家によると震度7になると地盤の割れを確認できるが震度6弱では表面の割れも出ないことが多いらしくより不安になってくる。

我が家では目に見えるところでは何もなくて安心はしているが、丁度古い筆筒を片付けて軽い筆筒を置こうとしていた矢先であり置いてみると左に傾き上には隙間。つまり建物は歪んでいる。今回の影響のみではなく阪神淡路の時、壁にひびが入った位だからこちらでの影響が大きく、今回更にダメージを受けたかもしれない。どうしようもないが、次の地震で傾きが元に戻るような揺れを期待したい。

発生後4日目の21日、近くの市内のショッピングモールに出かけたが地下鉄延伸工事は何もなかったように工事をされており、後で聞いたが何もなかったとの事。しかしモール1階の食品売り場は営業しているが、色々な店が入居している2階はスプリンクラーが作動し商品が駄目になり営業休止とのこと。隣の豊中でも同じことが起きていた。地震のみでスプリンクラーが作動するというのも変である。

今回の地震がきっかけがどうか分からないが、政府の地震調査研究推進本部は6月26日、今後30年以内に震度6弱以上の揺れの発生確率を示す2018年版の「全国地震動予測地図」を発表した。地震が起きたら…等「〇〇たら」を常に考えていては身も心も持たないが、頻繁に何かが起こる昨今、心しておかなければならないのは事実のようだ。“天災は忘れた頃にやって来る。”は死語になるかもしれない。

大阪北部地震ではワールドカップで日本がコロンビアに勝ったことで気持ちを和らいでくれたことも確かであった。が、その後前線や台風第7号の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。6月28日から7月8日までの総降水量が四国地方で1,800mm、東海地方で1,200mmを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の2～4倍となる大雨。また、九州北部、四国、中国、近畿、東海、北海道地方の多くの観測地点で24、48、72時間降水量の値が観測史上第1位となるなど、広い範囲における長時間の記録的な大雨となった。この大雨で岐阜、京都、兵庫、岡山、鳥取、広島、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎の1府10県に特別警報が発令され最大限の警戒を呼びかけた。そして熱波。多い台風。地下からも空からも攻められている。

## 郷土の暮らしと文化

### 「延命地蔵さん」

大東の歴史を探ねる会 宮澤 明久

江戸時代の終わり頃畑鶴の東福寺では、盛んに災禍なく無病息災ですごせると延命地蔵信仰が行われていた。

越戸地区の小山新右衛門（中屋敷2代目）も越戸地区の守りとして越戸谷の入口に招いて地蔵を建立し祀り始めたと言われる。越戸地区の入口の西側路端に石造の地蔵が1体安置され見守っている。以来、小山家が本願となり地区総出で毎年畑鶴東福寺と同じ7月24日に供養の法要が続けられている。

また、越戸小山家から分家した大木原小山家（新屋敷）も分家した際に延命地蔵を越戸から分立したと伝えられ、大木原地区の南端で地区を守り続けている。越戸と同様に7月24日に供養が続けられていたが、昨今の事情で祭日が変動するようである。祭日には、祥雲寺住職様の読経による法要が自治会をあげて行われている。コンクリート製のお堂の中に三体の仏像が安置され自治会の管理となっている。なお大木原では畑鶴との関係は伝えられていない。

北町畑田小路の北端の赤川の堤防近くにも延命地蔵が建立されている。天保6(1835)年に建立されたとあり、时期的に畑鶴での延命信仰との関連が伺われるが定かではない。（交流センターだより第14号「畑田の延命地蔵さん」として既掲載）



越戸の延命地蔵さん



大木原の延命地蔵さん

大東のなつかしい風景や人々の生活を写した写真がありましたらご提供ください。（編集委員会）



### この人に聞く

孝至さんは、鼓とどじょう揃いの師範。一方、銭太鼓とどじょう揃いの師範で西小学校郷土芸能部の子ども達に銭太鼓の指導にも出向いておられるキヨミさんは、遠く富山の出身で縁あって大東へ、「もう36年～37年になりました。住めば都。」と笑顔で話します。

夫婦仲良くユーモアいっぱいのだじょう揃いで観衆を楽しませてくれる友塚孝至さんに話を伺いました。



ともつかたかし  
友塚孝至さん・キヨミさん ご夫妻

(金成下)

#### Q 安来節を始めたきっかけは？

子どもの頃、親父が酒の席にて安来節を歌ったり、安来拳を撃ったりしていたことを思い出し、自分もそうありたいと願い50代になってから始めました。

#### Q 芸を披露されるときのお思いは？

老人会・介護施設への慰問、結婚式、納涼祭、地元祭りのアトラクション等で披露させてもらっています。特に老人会では、終戦時大変な苦勞をし、現在を築き上げて下さった皆様なので、報恩感謝の気持ちをこめて芸をさせていただいています。喜んでいただき有難い限りです。

#### Q 安来節修業でご夫婦が大切にしているものは？

妻は、県外から嫁いできましたが私の趣味に賛同してくれ、夫婦で共に支え合いながら「楽しく楽しむ」をモットーとし、修行に励んでいます。

私たちは、世界中の何十億人の中から選び結ばれた二人だから、全て「夫婦が基本」です。仲良くする。そしてその芸を人に喜んで頂けることが一番嬉しいですね。

そばでキヨミさんも「夫と一緒に頑張ることが出来てます」と孝至さんを称えます。

会話をすすめるうち ほのぼのとした穏やかな気持ちになりました。今度はどこで“夫婦のだじょう揃い二人踊り”にめぐり合えるのでしょうか。